

「どんな参加者でも楽しめる。」が合言葉。本当のクラブカップが駒ヶ根高原から始まる。

2006年9月16日(土)

スプリント大会

インカレロングモデルイベント

2006年9月17日(日)

インカレロング2006(フットトレイル0)

駒ヶ根高原大会(兼駒ヶ根市民大会)

夜はチャリティオークション

2006年9月18日(祝)

クラブカップリレー

場所 駒ヶ根高原家族旅行村(長野県)



最初の図化から20年を経て生まれ変わる駒ヶ根高原の地図。駒ヶ岳サービスエリアもご覧の通りの高精度に。

敷居は低いぞクラブカップ

クラブカップですが、ここのとこ、世界選手権絡みで大分敷居を高くしてしまった感があります。今回は3走、5走で、かなり趣向を変えて、もっと多くの人に参加してもらえるようにしてみました。

敷居が低いからといって、地図やコースの手抜きはなし。どんなレベルの人にも納得してもらえるクラブカップを目指します。

中央アルプスの高原

今年はインカレロングがクラブカップとコラボします。トレインは2004年のクラブカップで使用した駒ヶ根高原のGPS範囲を拡大します。駒ヶ根高原は中央アルプスの麓に広がる森。名水の産地でもあり、周囲には養命酒の工場やウイスキー工場などもあります。

9月17日(日)はインカレロング(学生選手権ロング種目)。各地区学連から選抜された選手たちが、学生日本一の座をかけて駒ヶ根の森を駆け抜けます。併設大会が開催されるので、応援がてら多くの人に参加してほしいです。トレイル0もこの日に開催されます。

9月18日(祝)はクラブカップリレー。



5月の調査で見事な残雪を残す、中央アルプスの山並み。駒ヶ根からはこんな素晴らしい風景が見える。

全部で4種類の地図を使用

クラブカップ2006では全部で4種類の地図を使用します。これでもか、という多彩な構成です。選手起用の妙味も大きく増します。

1走/2走/4走/6走(ノーマル区間)

2年前とだいたい同じレイアウトで地図縮尺1:7,500を使用。1人あたりのトップタイムが30-40分のレースになります。

3走(ランニング区間)

ほぼ同等レベルの長さのコースを2周します。前日の駒ヶ根高原大会で使用した地図を使用。道走り中心の非常に簡単なコースになります。(1周3kmを予定)2周コースのどちらを先に走るかで、同じ走順内でのバリエーションになります。

5走

3走と同じく、同じ走順内でのバリエーションの2周コース。地図は初日のスプリント大会で使用した地図(縮尺1:4,000)。1周が1.6km(全体で3.2km)で会場となる家族旅行村内だけを回ります。

7走(エース区間)

前日のインカレロングで使用する区域まで走ります。(今回地図拡大調査)

また、7走のみ途中のファインな区域で、バタフライループがあり、そこでどちらのループを先に回るか、でバリエーションを設定します。



駒ヶ根にある「大御食神社」。レース前のカーボローディングは、ばっちり!

2人で1人分のコースを走る

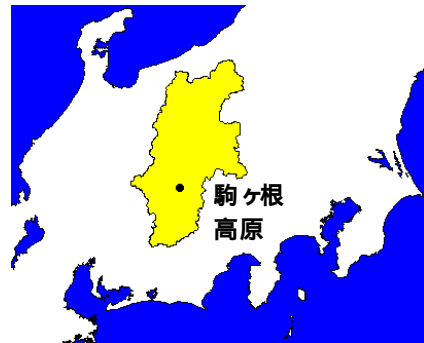
さらに……、これでもまだ長いよ~、という人のために、イーブンパラレルな走順の3走、5走はビジュアル区間で選手交代して、半分ずつ走ることも可能。これなら、引退したお母さんも気兼ねなく出場できますね。

最大9人でレースすることも可能になります。

ベテランクラスも6名で?

ベテランクラブクラスは、1/2/3/5走を充当します。3走、5走の特殊な設定もそのまま、最大6人で出走可能。

おいしい景色、おいしい料理も満載、駒ヶ根周辺では、オリエンテーリング以外でも色々な楽しみがあります。



(木村佳司)